

全員協議会の開催

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」のユネスコへの推薦資産決定について、平成25年9月18日に全員協議会を開催しました。

市長からの報告、議員を代表した議会運営委員長からの質問内容は、次のとおりです。

▼市長報告の概要

「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」が本年度ユネスコへ推薦されることが正式に決定された。

このことは、世界都市を目指す本市にとって大変喜ばしいことであり、構成資産を所有している企業を初め市民の皆様、それぞれの立場から世界遺産登録に関わっていただいた多くの皆様のおかげであり、厚くお礼を申し上げます。

「産業革命遺産」には、稼働資産の保全に関する関係者の役割分担や端島（軍艦島）の史跡指定の問題など、解決すべき大きな課題が残されているため、平成27年の登録に向け、今後、国、長崎県を初め関係者の皆様とともに、その解決に全力を挙げて取り組んでいきたい。

▼質問事項

- 1 「明治日本の産業革命遺産」の課題解決に向けた今後の取り組み
- 2 「明治日本の産業革命遺産」の登録推進に向けた関係自治体との連携
- 3 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けたこれまでの取り組み状況
- 4 「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けた今後の取り組み方針

▼2つの資産の世界遺産登録に向けた市長の決意

この2つの世界遺産候補は、これまで多くの市民の皆様、市議会議員の皆様、多くの関係者の情熱、そしてたゆまぬ取り組みがあって、ここまでの経過をたどってきた。多くの皆様の思いを必ず実現するという強い思い、それを形にするという強い意志を持って、「産業革命遺産」については平成27年、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」については平成28年の世界遺産登録を目指して全力で取り組みたい。

※全員協議会の模様は、長崎市議会ホームページでご覧になれます。

9月定例会

一

般

質

問

9月定例会では、9月5日から10日までの4日間にわたり、15人による個人質問が行われました。

市民クラブ

東長崎地域の公共交通

問 県営バスが、本年5月に東長崎地域のバス運賃値下げと、それに伴う赤字ローカル線の廃止・減便を発表するに至った経緯及びこの問題に対する市の考えを伺いたい。

答 東長崎地域のバス運賃の値下げについては、地域の皆様からの要望や市議会からの指摘を受け、県営バスや県議会議員に対する働きかけ及び県や県議会に対する要望を継続的に行ってきた。県営バスは、東長崎地域への他社の参入を理由に、同地域のバス運賃の値下げと赤字ローカル線の廃止方針を示した。値下げは歓迎するがローカル線の廃止は、地域住民の生活の足を守る観点から問題がある。本市としては、

住基カードの今後の取り組み

地域住民の生活の足の確保に空白期間が生じることがないよう、地域の皆様の意見や他の交通事業者の参入意向を確認し、対応していきたい。

問 住基カードは、制度開始から10年を迎えるが、利用者拡大に向けた検討経緯、カードの発行状況及び今後の取り組みについて伺いたい。



▲住基基本台帳カード

答 住基カードについては、コンビニや自動交付機での住民票等の各種証明書の発行や公共施設の利用者カードとしての機能を持たせること等の多目的利用について検討してきたが、自動交付機の利用等には多額の初期投資が必要であり、実現するまでには至っていない。住基カードの発行状況は、平成